

# エコアクション 21

## 環境経営レポート

対象期間

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日



# グリーンシティケーブルテレビ株式会社

発行日：2025 年 5 月 19 日

# 目次

1. 組織の概要	2
2. 環境経営方針	4
3. 環境経営目標と実績	5
4. 環境経営計画の取組結果・評価	7
5. 環境関連法規等取りまとめ表及び順守状況	8
6. 代表者による全体評価と見直し・指示	9
7. 次年度の環境経営目標・環境経営計画について	10

# 1.組織の概要

## (1) 事業所名および代表者氏名

事業所名 : グリーンシティケーブルテレビ株式会社  
代表者 : 代表取締役社長 石栗 祐一

## (2) 事業所および認証・登録範囲

本社 : 愛知県尾張旭市東大道町原田 3 4 番地 1  
サブセンター : 愛知県名古屋市中区大森三丁目 3 0 1 番地  
登録範囲 : 全組織、全活動を対象とする

## (3) 環境管理責任者氏名および担当者連絡先

責任者 : 経営管理本部長 小木曾 真二  
担当者 : 経営企画部総務 G 吉田 菜摘  
連絡先 : TEL (0561) 57-0192  
FAX (0561) 57-0196  
e-mail greenpea@gctv.co.jp

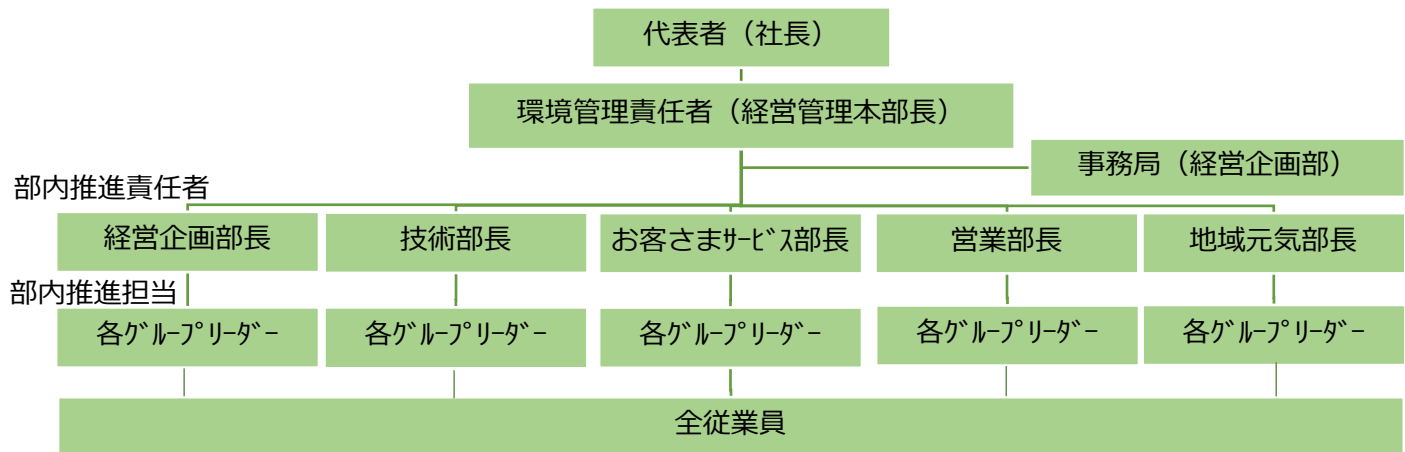
## (4) 事業内容

有線テレビジョン放送事業  
電気通信事業（インターネット・固定電話）  
放送番組の制作・記録映像販売  
イベント企画・請負業務

## (5) 事業規模

従業員数 83 名（2025 年 3 月 31 日時点）  
延床面積 4280.22 m<sup>2</sup>      本社: 3,177.12 m<sup>2</sup>  
サブセンター : 1,103.10 m<sup>2</sup>

## （６）実施体制



## （７）実施体制の役割、責任、権限

役割	実施内容
代表者	① 取組み対象組織の決定 ② 環境経営方針の策定 ③ 環境管理責任者の任命 ④ 資源(人員・設備・費用等)の準備 ⑤ 代表者による全体の評価と見直し
環境管理責任者	① 取組み対象組織の明確化（提案） ② 代表者に権限を委譲されて、環境経営システムを「構築」「運用」「維持」し、その状況（環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況及び運用結果、環境関連法規の遵守状況、外部からの環境に関する苦情や要望など）を代表者へ報告 ③ 実施体制の構築 ④ 教育訓練の実施 ⑤ 外部からの苦情等の受付対応、記録 ⑥ 環境経営レポートの発行
事務局	① 環境への負荷の自己チェック・環境への取組みの自己チェックの実施 ② 環境関連法規の取りまとめ、遵守評価の実施 ③ 環境経営目標・環境経営計画の作成 ④ 手順書の作成 ⑤ 緊急事態の想定、訓練の実施 ⑥ 問題点の是正、予防処置と記録 ⑦ 環境経営レポートの素案作成
部内推進責任者	① 自部署の取組みに関し、環境管理責任者に準じた責任を持つ ② 部内への積極的な周知・徹底と推進を図る ③ 環境経営計画の定期チェック（年１回）の実施
部内推進担当	① 自部署の取組みに関し、環境管理責任者に準じた責任を持つ ② 部内への積極的な周知・徹底と推進を図る ③ 問題点の是正、予防処置と提案
全従業員	① 環境経営方針・環境経営目標・環境経営計画を理解し積極的かつ自発的に取組む

## 2. 環境経営方針

### 《基本理念》

当社は、名古屋市守山区・尾張旭市・瀬戸市の緑豊かで自然に溢れた地域の景観や環境の維持に貢献していくことを責務と考えており、環境に配慮した事業活動、地域と連携した活動を通じ、地域社会がさらに発展できるよう貢献します。また、地域メディアとしての役割を担い情報発信に努めます。

### 《基本方針》

1. 二酸化炭素排出量削減のため、節電に努めます。
2. 総排水量を抑制するため、節水に努めます。
3. 廃棄物の排出抑制のため、分別管理の徹底と資源のリサイクルに努めます。
4. 業務効率化、資源削減のため、ペーパーレス化に努めます。
5. 資源の消費削減のため、グリーン購入の推進に努めます。
6. 環境経営向上のために、環境教育を実施し継続的なレベルアップに努めます。
7. 環境保全のため、環境関連の法律・規制・協定等の遵守をします。
8. 地域活動への参加や地域活動の情報発信を通して地域の活動をバックアップします。

制定日 2022年2月1日

グリーンシティケーブルテレビ株式会社

代表取締役社長 石栗祐一

### 3. 環境経営目標（中期目標を含む）

（1）環境経営目標（中期目標）

事業年度：4月1日～翌年3月31日

		基準年	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
二酸化炭素の削減	ガソリン使用料の削減 (km/L)	11.62	11.74	11.85	11.97	12.10	12.22
		基準値	1.00%	2.00%	3.00%	4.00%	5.00%
	電気使用量の削減(kwh)	969,881.00	968,911.12	967,943.18	966,977.17	935,824.05	935,254.24
		基準値	-0.10%	-0.20%	-0.30%	-3.51%	-3.57%
可燃ごみの削減(kg)		2,106	2,085	2,064	2,043	2,022	2,001
		基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
産業廃棄物の削減		—	—	—	産廃処理発生時の 適正処理の実施		
紙資源の削減（枚） ※複合機排出量		567,244	476,485	470,813	465,140	386,319	382,414
		基準値	-16.00%	-17.00%	-18.00%	-31.90%	-32.58%
水使用量の削減（㎡）		867	867	現状維持			
		基準値					
グリーン購入		63%	80%	90%	100%	100%	100%
		基準値	17%	27%	37%	37%	37%
清掃活動		週 1 回	週 1 回	現状維持			
環境に関する番組の 発信		—	—	—	月 1 回 (基準年)	現状維持	

- ・基準年（2020 年度）CO2 排出総量…377,959.68kg-CO2
- ・ガソリン使用料は、保有車両ごとの燃費（年間走行距離÷ガソリン使用料）平均。基準年度から毎年 1%の燃費向上を目標とする。  
基準年（2020 年度）ガソリン使用料…4,471.89ℓ 車両走行距離…51,959km
- ・電気使用量は、本社とサブセンターの年間電気使用量（kw）の合計。基準年度から毎年前年比-0.1%の削減を目標とする。  
2023 年度に削減目標を大幅に達成したため、2023 年年度実績値を基準とし 0.1%ずつ削減するよう目標を再設定した。
- ・可燃ごみは、廃棄物処理委託先への可燃ごみ排出量（kg）の合計。基準年度から毎年前年比-1%の削減を目標とする。
- ・産業廃棄物の削減については 2024 年度より追加。産廃排出については不定期のため、処理発生時の適正処理を実施する。
- ・紙資源は、複合機で出力するコピー用紙の使用枚数の合計。2021 年度の顧客システム更改に伴う紙出力削減見込み（-16%）から前年比-1%の削減を目標とする。2023 年度に削減目標を大幅に達成したため、2023 年度実績値を基準とし 0.1%ずつ削減するよう目標を再設定した。
- ・水使用量は、本社建設時に自動水栓や節水型の便座を採用しているため、基準年の水使用量合計値を維持、とする。
- ・グリーン購入は、環境対応製品※購入品目数の割合。2021 年度の環境対応製品購入割合 80%目標とし、以降前年比 10%増加、2023 年度以降 100%購入を目標とする。
- ・清掃活動は、基準年に行っていた本社周辺（名鉄瀬戸線尾張旭駅前ロータリー）の清掃活動の実施回数を維持、とする。
- ・環境に関する番組の発信については 2024 年度より追加。毎月 1 回の情報発信を継続して実施する。

・化学物質の使用はありません。

※環境対応製品…グリーン購入法適合マークの他、エコマーク、エコ商品ネット掲載マーク、FSC®マーク等環境に配慮した製品

## (2) 達成状況

活動期間：2024 年 4 月～2025 年 3 月

目標値に対する評価基準：○目標達成 ×目標未達 △特段の事情あり

目標項目		基準値 (2020 年度)	2024 年度		
			目標値	実績値	評価
削減 二酸化炭素の	ガソリン使用料の削減 (km/L)	11.62	12.10	12.20	○
			4.00%	5.00%	
	電気使用量の削減 (kwh)	969,881.00	935,824.05	950,862.00	△
			-3.51%	-2.03%	※1
可燃ごみの削減 (kg)		2,106	2,022	1,245	○
			-4.00%	-40.88%	
産業廃棄物の削減 (㎡)		—	産廃処理発生時の 適正処理の実施	5	○
紙資源の削減 (枚) ※複合機排出量		567,244	386,319	474,049	×
			-31.90%	-16.43%	
水使用量の削減 (㎡)		867	基準年維持	631	○
				-27.22%	
グリーン購入 (%)		63	100	100	○
			37%	37%	
清掃活動		週 1 回	基準年維持	週 1 回	○
環境に関する番組の発信		—	月 1 回	月 1 回	○

- ・活動期間における二酸化炭素排出量の総量は 372,895.10 kg-CO<sub>2</sub> であり、前年度（2023 年度）における二酸化炭素排出量の総量 366,866.97 kg-CO<sub>2</sub> より+1.6%であった。（電力の CO<sub>2</sub> 排出係数は 基準年である 2020 年度中部電力パワーグリッドの CO<sub>2</sub> 排出係数 0.379 (kg-CO<sub>2</sub>/kWh) を使用。基準年の二酸化炭素排出量 377,959.68 kg-CO<sub>2</sub> から-1.3%削減）
- ・ガソリン使用料…5,324.22 ℓ 保有車両走行距離…64,797km

### ※1 電気使用量の増加

設備の増強による追加設備の設置により、大幅に電気使用量が増加している。

## 4. 環境経営計画の取組結果・評価

評価基準：○目標達成 △目標未達であるが、理由が明確 ×目標未達

計画		2024 年度の実績	評価	関連する SDGs
二酸化炭素の削減				
ガソリン使用量の削減				
エコドライブの教育	・安全運転講習会内で、エコドライブの教育を実施 ・隔月でエコドライブの周知を社内掲示板に掲載	・エコドライブの周知を実施（5 月、7 月、9 月、11 月、1 月、3 月） ・安全運転講習会にてエコドライブの教育を実施（2 月）	○	<div>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</div> <div>13 気候変動に 具体的な対策を</div>
車両更新時に HVEV 車の導入検討	・電気自動車を導入予定	・電気自動車の導入（11/13～）	○	
電気使用量の削減				
昼休み、残業時に不要な照明の消灯に努める	・各島の座席、エアコンスイッチの明確化	・エアコン、電気のスイッチ範囲を座席表へ落とし込み明確化し周知（11/1） ・昼休みのロールカーテンの運用を周知	○	
冷暖房機器は適切な温度で使用する （夏季 27℃、冬季 20℃を奨励）	・クールスポットの設置	・2F ロッカー室をクールスポットとして利用できるようエアコンを設置した。	○	
クールビズ、ウォームビズの実施	・カジュアルデーの検討	・夏のカジュアルデー 9/13、9/27 実施 ・冬のカジュアルデー 1/30 実施	○	
水道の温水設定の期間を決めて利用する	・4 月温水→冷水、11 月冷水→温水へ切替予定（気温をみながら調整）	・4 月温水→冷水切替、11 月冷水→温水切替を実施	○	
グリーンカーテンの設置	・日差しが強く差し込む窓への設置を検討	・4F リフレ西側の窓へグリーンカーテン設置（5/24）	○	
可燃ごみの削減				
分別方法の教育、周知	・ごみの分別についての周知を継続	・サイボウズ掲示板で周知を実施（9/30、11/15）	○	<div>11 住み続けられるまちづくりを</div>
マイカップの推奨	・紙コップ削減のため、マイカップの持参を推奨する	・10/1 コーヒーコーナーの紙コップを廃止	○	
紙資源の削減（複合機排出量）				
システム活用によるペーパーレス化	・ペーパーレス化に向けたシステムの導入は概ね計画通り終了したため、システム活用によりさらに紙資源の削減を目指す	・注文書をワークフローシステムから PDF 出力可能とした（12/1～）	○	



	ペーパーレス会議の促進	・デスクトップ PC からノート PC へ入替し、会議室へ大型モニターを設置することで会議のペーパーレス化を促進	・ノート PC への入替（2 月）、会議室へ大型モニターの設置を実施（3 月）	○	<div>13気候変動に 具体的な対策を</div> <div>15陸の豊かさも 守ろう</div>
	社内資料の N アップ印刷、両面印刷、白黒印刷の推進等による使用枚数の削減	・社内周知を実施	・PC 入替時に再周知	○	
水使用量の削減					
	節水の呼びかけ	・節水の周知を継続	・節水の周知を継続	○	<div>6安全な水とトイレ を世界中に</div>
	定期的な漏水のチェック	・毎月の検針、管理会社の確認によりチェック	・毎月の検針、管理会社の確認によりチェック	○	
物品購入					
	物品購入時にはグリーン購入に配慮する	・グリーン購入の実施を継続	・グリーン購入の実施を継続	○	<div>12つくる責任 つかう責任</div>
	社内リサイクルボックスの設置	・取引先からいただいたペンや付箋などの販促品やサンプル品をリサイクルボックスで回収し、必要な人が持ち出せる仕組みを作る	・社内リサイクルボックスの設置（12/4～12/27）	○	
清掃活動					
	グループごとに週 1 回持ち回りで社屋周辺の清掃活動を実施する	・会社駐車場、尾張旭駅ロータリーの清掃 ・尾張旭駅前の花壇の植え替え、管理	・会社駐車場、駅前ロータリーの清掃を継続して実施 ・駅前花壇の植え替え（6/14、12/5）	○	<div>11住み続けられる まちづくりを</div>
	市の清掃活動への積極的な参加	・5/26 尾張旭市まち美化作戦へ参加	・5/26 尾張旭市まち美化作戦へ参加（18 名）	○	
その他					
	環境月間ポスター、その他環境に関する啓もうポスター等の掲示	・6/5 環境の日、6 月環境月間の周知	・環境の日、環境月間について社内掲示板で主知、ポスター掲示	○	<div>4質の高い教育を みんなに</div> <div>9産業と技術革新の 基盤をつくろう</div>
	環境活動に取り組む企業や団体の取材と番組放送	・月 1 回更新で番組の放送を継続する	・月 1 回更新で番組の放送を継続する	○	

## ５．環境関連法規等取りまとめ表及び遵守状況

### （１）主な環境関連法規制など

法律・条例等	要求事項	遵守状況
大気汚染防止法 (第 31 条)	ばい煙発生施設（非常用発電機）軽油 50L/時 以上が対象となり、各市役所へ届け出が必要。 ※電気通信事業法に乗り取り電気工作物の設置届を提出しており、届出受理されている	○
廃棄物処理法 (第 11,12,13,15 条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物(一般廃棄物・産業廃棄物)の適正処理</li> <li>・許可業者と委託契約書の締結・保存</li> <li>・産業廃棄物の運搬・処分等の委託の基準の遵守</li> <li>・委託先の許可内容の確認 ・更新</li> <li>・産業廃棄物管理票(マニフェスト)の交付・管理・保管</li> <li>・「産業廃棄物管理票交付等状況報告書」の提出（2024/6/11 提出）</li> </ul>	○
家電リサイクル法 (第 6 条)	特定家庭用機器(テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・乾燥機)の適切な廃棄。	○
フロン排出抑制法 (第 16,41,43,45, 74,86 条、第一種特定製 品の管理者の判断の基準 となるべき事項（平成 26 年経済産業省環境省 告示第 13 号）)	業務用エアコン等の定期点検(1 回/年以上) 簡易点検(1 回/3 ヶ月以上)実施 定期点検記録表、保守点検表	○
愛知県廃棄物の適正な処 理の促進に関する条例 (第 7 条)	産業廃棄物の運搬又は処分を処理業者に委託するときは、産業廃棄物を処理する能力を備えていることを確認する。	○
グリーン購入法 (第 5 条)	製品調達時に、グリーン購入(環境負荷 低減製品)に努める。	○
県民の生活環境の保全等 に関する条例 (77・79 条)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自動車のアイドリングストップを運転業務のある従業員へ指導しなければならない。</li> <li>・自動車の使用の際は、低公害車が排出ガスの量がより少ない自動車を使用するよう努める</li> </ul>	○
小型家電リサイクル法	対象品目（家電リサイクル法の定める家電 4 品目以外の広範な電気電子機器）の適切な廃棄。	○
尾張旭市環境基本条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・資源及びエネルギーの有効利用、廃棄物の発生抑制等により、環境への負荷の低減に努める。</li> <li>・廃棄物が適正に循環的な利用が行われることを促進するため、必要な措置を講ずるよう努める。</li> </ul>	○
尾張旭市良好で快適な生 活環境を確保する条例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の良好で快適な生活環境の保全のために必要な措置を講ずるとともに、市の施策に協力する。</li> <li>・土地が雑草や樹木の繁茂その他により、周辺的生活環境を著しく損なう状態にならないよう適正に管理する。</li> </ul>	○

(2) 遵守状況および違反・訴訟などの有無

環境関連法規への違反や訴訟はありません。

また、関係機関からの指摘や指導、および環境に関する苦情などの発生も過去3年間ありません。

## 6. 代表者による全体評価と見直し・指示

### (1) 代表者による見直し指示

	見直しの有無	指示事項等
環境経営方針	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	方針は適切であり、今後もこれを継続する。
環境経営目標	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無	・ 電気使用量、紙の削減については 2024 年度より目標値の見直しを行ったが目標未達となっている。取り組み内容について見直しを行い目標達成となるよう管理すること。
環境経営計画	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	・ 消費電力削減に向けた取り組みを強化すること。 ・ 紙の削減に向けた取り組みを強化すること。 ・ その他の取組目標は継続する。
実施体制	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無	組織変更に併せて更新をすること。

### (2) 全体の評価・コメント

環境経営計画は計画通り実施できているが、環境経営目標においては未達成の項目が散見される。目標未達の項目については、取り組み内容の見直しを行い、目標達成に向けた対策を行うこと。

2020 年度からの継続的な活動により、全従業員がエコアクション 21 への取り組みについて理解を深めてきているため、目標達成に向けより意識を高め活動ができるよう推進していく。

今後は、環境経営方針の理念に掲げる当社事業エリア内の環境維持への貢献のため、清掃活動・環境保全活動の活動範囲を広げ、従業員全員が理念の実現に向け行動できるような意識づけを行っていく。

グリーンシティケーブルテレビ株式会社

代表取締役社長 石栗 祐一

## 7. 次年度の環境経営目標・環境経営計画について

### (1) 2025 年度 環境経営目標

2024 年度の環境経営目標を継続する。

		基準年	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度
			目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
二酸化炭素の削減	ガソリン使用料の削減 (km/L)	11.62	11.74	11.85	11.97	12.1	12.22
		基準値	1.00%	2.00%	3.00%	4.00%	5.00%
	電気使用量の削減(kwh)	969,881.00	968,911.12	967,943.18	966,977.17	935,824.05	935,254.24
		基準値	-0.10%	-0.20%	-0.30%	-3.51%	-3.57%
可燃ごみの削減(kg)		2,106	2,085	2,064	2,043	2,022	2,001
		基準値	-1.00%	-2.00%	-3.00%	-4.00%	-5.00%
産業廃棄物の削減		—	—	—	産廃処理発生時の 適正処理の実施		
紙資源の削減（枚） ※複合機排出量		567,244	476,485	470,813	465,140	386,319	382,414
		基準値	-16.00%	-17.00%	-18.00%	-31.90%	-32.58%
水使用量の削減（㎡）		867	867	現状維持			
		基準値					
グリーン購入		63%	80%	90%	100%	100%	100%
		基準値	17%	27%	37%	37%	37%
清掃活動		週 1 回	週 1 回	現状維持			
環境に関する番組の 発信		—	—	—	月 1 回 (基準年)	現状維持	

## (2) 2025 年度 環境経営計画

2025 年度の計画を以下のとおりとする。

赤字箇所（新規項目）：各削減項目にあらたな取り組みを追加し、環境経営目標達成およびさらなる環境負荷の低減に向けて取り組みを行っていく

計画		関連する SDG s
二酸化炭素の削減		
ガソリン使用料の削減		<div>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</div> <div>13 気候変動に 具体的な対策を</div>
エコドライブの教育	・安全運転講習会内で、エコドライブの教育を実施 ・サンシェードの購入、設置	
車両更新時に HVEV 車の導入検討	・入替なし	
電気使用量の削減		
昼休み、残業時に不要な照明の消灯に努める	・各島の座席、エアコンスイッチの明確化	
冷暖房機器は適切な温度で使用する (夏季 27℃、冬季 20℃を奨励)	・クールスポットの運用開始 (2F ロッカー室) ・夏場の外出時や高温多湿の作業場での作業後にクー ルダウンができるようシャワー室の運用を検討 ・2F 南面に網戸の設置を検討	
クールビズ、ウォームビズの実施	・カジュアルデーの検討 (8 月、1 月)	
水道の温水設定の期間を決めて利用する	・5 月温水→冷水、11 月冷水→温水へ切替予定 (気 温をみながら調整する)	
便座温度、水温の期間を決めて利用する	・5 月中→低、11 月低→高へ切替予定 (気温をみな がら調整する)	
退勤時の PC シャットダウンの徹底	・帰宅時の PC とモニターのシャットダウンを徹底す る	
可燃ごみの削減		<div>11 住み続けられる まちづくりを</div>
分別方法の教育、周知	・ごみの分別についての周知を継続	
紙資源の削減 (複合機排出量)		
ノート PC 活用による社内会議のペーパーレス化	・ノート PC の無線接続によるペーパーレス会議を推 奨する	<div>13 気候変動に 具体的な対策を</div> <div>15 陸の豊かさも 守ろう</div>
社内資料の N アップ印刷、両面印刷、白黒印刷の 推進等による使用枚数の削減	・社内周知を実施	
裏紙使用の推奨	・社内資料等については裏紙での印刷を推奨する	
水使用量の削減		
節水の呼びかけ	・節水の周知を継続	<div>6 安全な水とトイレ を世界中に</div>
定期的な漏水のチェック	・毎月の検針、管理会社の確認によりチェック	

グリーン購入		12 つくる責任 つかう責任 
物品購入時にはグリーン購入に配慮する	・グリーン購入の実施を継続	
再利用の促進		12 つくる責任 つかう責任 
社内リサイクルボックスの設置	・取引先からいただいたペンや付箋などの販促品やサンプル品をリサイクルボックスで回収し、必要な人が持ち出せる仕組みを作る	
清掃活動		11 住み続けられるまちづくりを 
グループごとに週 1 回持ち回りで社屋周辺の清掃活動を実施する	・会社駐車場、尾張旭駅ロータリーの清掃 ・尾張旭駅前の花壇の植え替え、管理	
市の清掃活動への積極的な参加	・5/25 尾張旭市まち美化作戦へ参加 ・8月瀬戸市まるっとおもてなしクリーンアップ大清掃活動	
環境保全活動		15 陸の豊かさも守ろう 
地域の清掃活動、環境活動への参加	・尾張旭駅前の花壇の植え替え（5月・12月）、管理	
4 F テラスの緑化活動	・有志で募集した従業員にテラス、備品の貸し出しを行い屋上緑化を実施する	
その他		4 質の高い教育をみんなに 9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
環境月間ポスター、その他環境に関する啓もうポスター等の掲示	・6/5 環境の日、6月環境月間の周知	
環境活動に取り組む企業や団体の取材と番組放送	・月 1 回更新で番組の放送を継続する	